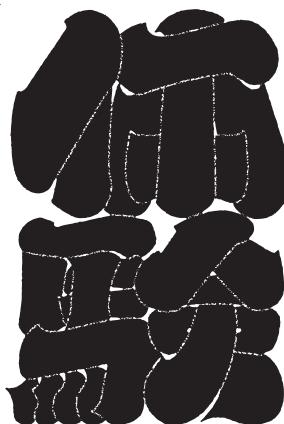


7

2025年7月号
発行・浜田市ふるさと体験村
発行人・太田章彦
発行日・2025/7/1
電話・0855-48-3310
島根県浜田市弥栄町三里 257-4



浜田市ふるさと体験村と
浜田市ふるさと体験村にまつわる
情報を伝えるために誕生した新聞です。
月に一度、弥栄町内だけに
発行しています。



新たなラインナップ

体験村が再開して3年目になりました。個人的には、いや客観的に見ても、再開といふ響きに相応しい新鮮さや新しさが足りてないな、と思つていきました。そこで、いままでの体験村を築いてきた人たちと36年のその歴史に敬意を払っていることが伝わるようになつて、新しい挑戦を可愛く表現したいと思い、「体験」という字をデザイナーに頼み、形にしました。

手始めにステッカー、トートバッグ、Tシャツを作りました。手前味噌ですが、これがめちゃめちゃ格好良くて、めちゃめちゃ可愛い。普段使っていた。手前味噌ですが、これ買つて欲しい。そして身について、歩く広告塔になつて欲しい。そうしたら、なんだか村全体がセンスが良さそうな、そんな雰囲気を醸し出せるんじやないか。古くて新しい、そんな新しいラインナップが爆誕です。

スマホ教室のよう

味里を利用してくださるお客様に、スマホの使い方を教えて欲しい、と言われる回数が増えています。地域のデジタル化を猛烈に推進したい私からすると、とっても嬉しい要望だつたります。

よくある質問が「LINEの使い方を教えて欲しい」というもの。そんなの、私でなければなんばでも教えますとも。この前はグループを作成して欲しい、友だちに追加して欲しいと頼まれ、対応させていただきました。もちろん受講料なんていただきません。そばを食べていただけたらそれでオッケーです。

テクノロジーの進歩や登場がある度に学びが必要になりますが、これもある種の耐性のような気がしており、新しいことに触れることを継続していくなら、いざれ抵抗が無くなつていつたりするんじやないかと思つたり…。

LINE、Google、Slack、Canva、SNS、Chat GPTなど他にももつと色々あります。が、使えるようになると生活の中で便利だなと思う場面が増えますので、そばを食べたあとになんでもお気軽に質問してくださいませ。

ふるさと体験キャンプ

今年の夏休み。かつて、ふるさと体験村が子ども向けに実施していた「ふれあい学校」が「ふるさと体験キャンプ」に名前をえて、復活します。川で遊んだり、みんなでご飯を作ったり、BBQをしたり、花火をしたり、肝試しをしたり…。弥栄の大自然のなかで、新しい友だちと思い出ができる2泊3日を、お子さんにいかがでしょうか？

7月20日が応募締切です。お申込みは体験村のHPから。定員18名、先着順です。お申込みは体験村のHPから。※大人のボランティアスタッフを大募集中です。

出張販売の輪

毎週木曜日の訪問販売の売上が、止まることなく上がり続けています。本当にありがたいです。感謝です。どこか続けたいです。大人のボランティアスタッフを大募集中です。

いろいろな要望に少しづつ応えながら、改善を加えています。引き続き、どうぞよろしくお願いします。

クワガタの季節

クワガタが、6月の中旬ごろから姿を見せるようになります。今のところ、ノコギリクワガタが圧倒的に多いのですが、ミヤマやヒラタもちらほらいます。ノコギリクワガタは大きいオスもいて、そろなるとツノの形が特徴的になり、例えるならばそれこそが牛の形になり、それがとてもかっこいい。しかし今の子どもたちにこのかっこよさがわかるんだろうか。いや、これがかっこいいということなんだと、教えてあげなければならない。いやしかし、ノコギリクワガタだけでも熱く語れてしまうのに、ヒラタもいてミヤマもいて忙しい…！

体験村、クワガタがたくさんいるので（獲れるかは別）、遊びに来てくださいね。そばを食べてくれば、スポーツと魅力を教えます。それと、蛍もまだチラホラ飛んでいるので、蛍鑑賞もオススメです。

